

やらのまがら

通信



岐阜県庁公式HP



松岡正人WEBサイト



結果でお応えします!!

今年が卯年、私は年男であり、私の生まれた同じ年に各務原市も誕生しているのです。市政60周年の節目の年となります。コロナによる社会・経済活動の激変とウクライナ侵略戦争をはじめとして国際情勢が緊迫する状況にあるため、物価高騰やエネルギー高騰など皆さんの生活にも大きな影響が生じていることと思えます。私は「跳ねる兔、年男」として、岐阜県そして各務原市の発展のために全力を尽くして参ります。皆様のご指導ご鞭撻、そしてご支援をよろしくお願い申し上げます。



最少の経費で、最大の効果を

自民党(県政自民クラブ)代表質問 令和3年 第2回定例会 3/10

1. 次の4年間の県政運営について
2. 新年度予算について
 - (1) 新年度当初予算編成の狙いとその実現に向けた取組みについて
 - (2) 新年度予算案における一般財源総額の見通しと新型コロナウイルスの影響を踏まえた中期的な財見通しについて
3. コロナ感染対策と経済対策について
 - (1) 第3波における県の対策の評価と感染拡大防止に向けた今後の取組みについて
 - (2) 新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた関連法の改正について
 - (3) 新型コロナウイルスワクチンの接種に向けた準備について
 - ① ワクチン接種を円滑に行うための体制整備について
 - ② ワクチン接種に関する県民への周知について
 - (4) 経済雇用対策について
4. アフターコロナを見据えた施策について
 - (1) 県の産業構造のグリーン化に向けた企業支援や再生可能エネルギーの導入拡大について
 - (2) 木曽川中流域の観光振興に向けた取組みについて
 - (3) デジタル化の推進について
 - ① デジタル戦略を推進するための体制づくりについて
 - ② サイバー攻撃への備えについて
 - ③ 警察におけるサイバー攻撃への取組みについて
 - (4) 少子化対策の一層の推進について
 - ① 市町村の取組みの促進並びに全県展開について
 - ② 地域で子どもを育てるための「共助」を促す取組みについて
5. 岐阜県の未来づくりについて
 - (1) 笠松競馬の運営に関する課題について
 - ① レースの公正確保のための取組みについて
 - ② 笠松競馬の運営体制について
 - (2) 森林が持つ公益的機能の回復・強化について
 - ① 清流の国ぎふ森林・環境税を財源とした事業の成果と課題について
 - ② 森林環境譲与税の活用に係る市町村への支援について
 - ③ 清流の国ぎふ森林・環境税と森林環境譲与税の棲み分けと活用について
 - (3) 地域防災力の向上について
 - ① 防災・減災、県土強靱化の取組みについて
 - ② 共助意識を高めるための防災教育の取組みについて
 - (4) 小学校における全学年での少人数学級の導入について
 - ① 本県における導入の意義や教育行政への影響の評価について
 - ② 教員確保問題等の想定される課題への対応について

令和4年 第4回定例会 9/29

1. 国内外の岐阜県人会など、ゆかりある方達との関係構築について
 - (1) 国内外の県にゆかりのある人々とのネットワーク構築及び魅力発信の仕組みづくり
 - (2) 岐阜県人世界大会への協力と岐阜県人会インターナショナルとの今後の連携について



2. 公共交通の利用促進に向けたMaaSの実現について
 - (1) 県内におけるMaaSの取組状況について
 - (2) MaaS実現に向けた今後の取組について
3. 金融教育の現状と課題について

一般質問とは…

県議会定例会の一般質問は、議員として県政に提案をするための貴重な機会です。副議長や監査を務めた年度以外は積極的に登壇しています。この4年間に於いても、各務原市に関連することや政策として掲げている施策について42項目を質問して、具体的な県政施策に結び付けました。

令和元年 第3回定例会 6/20

1. シニア世代(高齢者)が生き生きと安心して暮らせるまちづくりについて
 - (1) シニア世代(高齢者)が活躍できる社会づくりについて
 - (2) シニア世代(高齢者)の就業拡大等について
 - ① 県内企業の定年延長の現状と課題、今後の取組みについて
 - ② シニア世代(高齢者)の就業・起業支援について
 - ③ シルバー人材センターの課題と今後の取組みについて
 - (3) シニア世代(高齢者)による地域活動の活性化について
 - ① 老人クラブ等の活性化に向けた取組みについて
 - ② シニア世代(高齢者)による生活支援ボランティアへの参入や介護分野への就労支援等について

令和元年 第5回定例会 12/12

1. スポーツ振興について
 - (1) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた競技力向上の取組みについて
 - (2) ジュニア世代の競技力向上に係る課題と今後の取組みについて
2. 障がい者総合就労支援センターにおける定着支援と周知に向けた取組みについて
3. 木曽川流域の観光資源の可能性と広域連携について

令和2年 第4回定例会 10/1

1. コロナ禍における経済活動支援策について
 - (1) 設備投資費用を支援する補助金の今後の対応について
 - (2) 設備投資費用を支援する補助金におけるリースの導入について
2. コロナ禍における社会活動支援策について
 - (1) 感染防止に配慮した高齢者の地域活動のあり方について
 - (2) 自治会活動への影響と活動再開にあたっての市町村支援について
3. 「住み続けられるまちづくりを」という観点での大型住宅団地に対する施策について

令和4年 第3回定例会 6/24

1. テクノプラザ(各務原市内)の活性化について
 - (1) テクノプラザの役割と今後の活用方針について
 - (2) 株式会社ブイ・アール・テクノセンターの現状評価について
 - (3) 高校教育の場としてのテクノプラザの活用について
 - (4) 高校生の実習授業における動画教材の導入について
2. 県民の健康づくりについて
 - (1) 健康づくりに資する「ミナレク運動」の全県展開について
 - (2) 「ミナレク運動」の具体的な取組みについて

災害に強いまちづくり

近年、自然災害が激甚化しており、各務原市においても川島大橋の大雨による洗掘で橋脚が損傷して通行止めになる災害が発生しました。川島大橋の災害復旧は、国によって迅速に進められておりますが、

他の老朽化した橋も点検や整備を進めていく必要があります。また、狭く古くなった県道も多く、緊急輸送道路に指定するためには規格外の道路もあります。ある岐阜鵜沼線の

西への延伸も含めて、高規格道路の整備が必要ですが、また、消防団や自治会など自助・共助の防災組織も大切だと考えています。支障する仕組みづくりに努めていきます。

防災の拡充

道路や橋梁の老朽化

人口減少に打ち克つ岐阜県づくり

人口減少の原因には死亡数と出生数の差による「自然減」と、流出数と流入数の差による「社会減」の二つの要因があるので、それぞれに対応する施策が必要です。合計特殊出生率を上げるために子育て支援をどのようにするか、そして人口流出を減らすための魅力発信がカギ

「地域ぐるみの少子化対策は、最良の高齢者福祉施策に繋がる」

地域のみんなで子育てすることで、シニア世代が元気を得られて、高齢福祉のコストが下がる好循環を創られると考えます。

オール岐阜体制の子育て支援を目指します!!



各務原市といえば…

自然に恵まれた公園都市

南に木曾川、北に各務原アルプス、そして市内各所には整備された素晴らしい公園が数多くあります。**県営都市公園が2つあるのは県内で各務原市だけです。**さらに各務原浄化センターにも公園があるので、「公園都市各務原」にふさわしい整備拡充にこれまでも努めてきました。今後、木曾川畔に各務原市の新たな公園施設の計画があるので、一層の魅力発信拠点になるように県と市の連携を働きかけます。**更なる魅力創出と発信！**

駅がたくさんある便利なまち

各務原市内には、名鉄12とJR4の合計16駅があります。これほど鉄道の駅に恵まれた街は少なく、これを活かす施策を常に考えてきました。高齢化社会や脱炭素社会、そしてSDGsの「**住み続けられるまちづくり**」の観点からも、公共交通機関の活性化は、これからの時代のニーズだという想いで取り組んできました。新たなモビリティ技術やDXの活用によって「**車が無くて暮らせるまちづくり**」に取り組めます。

自衛隊基地とモノづくりのまち

私の卒業した小学校区に自衛隊官舎があった関係で、自衛官の子供さん達と触れ合う機会が多くありました。**基地と航空宇宙産業は、各務原市にとっては、ともに発展してきた象徴です。**それをブラッシュアップするために、**岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の整備や活用、テクノプラザでの産業人材育成など**に取り組んできました。これからも、中小企業の労働生産性を上げることで、働く人の賃金上昇を目指し、豊かな生活と活力あるまちづくりに取り組めます。

スポーツ・レクリエーションの普及・振興

中学生時代の部活から大学の体育会バドミントン部での活動が、私の人格形成に大きな影響がありました。スポーツの素晴らしさを感じながら、恩返しという想いで活動してきました。議員になってからは、競技力向上だけではなく、健康づくりや仲間づくりという観点で「**スポーツ・レクリエーションの普及と振興**」に携わっています。**人生100年時代に向けたシニア世代の身体を動かす機会の創出する施策、中学校部活動の地域移行に向けた課題解決に積極的に取り組めます。**

素晴らしい教育のまち「こどもは宝」

各務原市の教育水準は、非常に高いと感じています。幼児教育から小中学生の義務教育の素晴らしさが、県内外で活躍する多くの逸材を輩出していることから明らかです。さらに、市立の特別支援学校を新設して障がいのある子供たちの教育環境整備も進んでいます。議員を目指した時から「**こどもは宝**」というスローガンを掲げており、今後も教育や子育て支援に最大限の取り組みをしていきます。

医療・福祉は安心安全なまちづくりの根幹

長らく続くコロナ社会、医療と福祉がいっそう大切な時代となっています。各務原市内の医師会や歯科医師会そして薬剤師会、看護師や介護士の医療関係者の皆さんと意見交換しながら、行政に対して様々な働きかけをしてきました。**救急救命体制**については、かなり具体的な施策提案の実現ができました。「**人生100年時代**」、健康年齢を延伸して、安心に暮らせるまちづくりに取り組めます。

岐阜県といえば…

清流の国ぎふ

ぎふ清流国体・清流大会の開催を契機として、施設や条例、施策の名称などに“清流の国ぎふ”と銘打たれるようになりました。特に長良川への施策推進が目立っていたので、木曾川に対する県としての積極的な取り組みを提案しました。その結果「**木曾川再発見プロジェクト**」が立ち上がり、中流域の観光協議会の設立にも繋がりました。今後は河川敷の施設整備に加えて、国交省が推進する「**かわまちづくりとミズベリング**」といった住民活動の支援に一層注力していきます。

オール岐阜での取り組み

新型コロナウイルス、鳥インフルエンザ、豚熱(豚コレラ)といった災害ともいえる危機が、幾度となく岐阜県を脅かしてきました。危機に直面するたびに、行政と県民が一丸となって乗り切る体制づくりと取り組みが確立されました。「**オール岐阜**」と称されるこうした取り組みは、国でも注目されており、ひとえに県民の皆様の協力の賜物です。これからも、いつ来るかわからない災害や危機に対応する**危機管理体制の拡充**に努めていきます。

国を守る

憲法改正は自民党の党是です。東アジアの緊迫した情勢は今後さらに厳しくなることが予想され、防衛予算の拡充も検討されています。法的整備を進めるとともに、自衛隊の憲法への明記など憲法改正について、より一層の議論をすべき時期が来ています。安全保障は、国防や軍事に限らず、食糧や資源エネルギーについても自給率の低い日本にとっては重要な課題です。農林業への取り組み、蓄電池技術などの技術革新による再生エネルギーの活用など、岐阜県として更なる自給率向上策に取り組みむように働きかけます。

暮らしを守る

ロシアのウクライナ侵攻の影響による小麦・油脂などの原材料価格の高騰や世界的な需要増加、原油価格の上昇による物流費・包装資材などの値上げなど物価の高騰が続いています。更に石炭や液化天然ガス(LNG)の輸入価格の高騰による電気代の値上げが続いているために我々の生活は厳しい状況です。企業経営も同様であり、給与水準を上げることがままならず、デフレから脱却できず悪循環を繰り返しています。中小企業が多い地方都市は、より一層厳しくなることが予想されます。岐阜県民の暮らしを守るために、国に対して地方への助成や補助による活力づくりを働きかけていきます。

ふるさとに誇りを

技術革新は効率向上と豊かさを創出します

岐阜県議会ではタブレット端末が議員に貸与されて導入されました。その導入検討委員会では、私は委員長として円滑な導入と有効な活用方法の議論を進め、スムーズな会議運営とペーパーレスなどの成果が上がっています。農林業も含むすべての産業において、デジタル技術やロボットによる省力化などによって、労働生産性を向上させることができ、企業利益増加や賃金上昇、生活水準の向上につながります。岐阜県すべての産業における技術革新に対する施策推進を応援していきます。

新しい価値観を

「やらなあかんしあわせ改造計画」、これは私が掲げるスローガンであり、名刺にもロゴが刷ってあります。メールアドレスも、「shiwase@yaranakan.jp」です。あわせ改造計画とは、しあわせの価値観を時代に合わせて柔軟に変えていく必要があるという想いを表しています。福祉とは幸せであること、みんなが幸せであるために行政がどう施策運営をするのか？それに対して、県民の声を反映させ提案をする役割を我々議員が担っていると考えています。これからも皆さんのコミュニケーションを大切に、経験を最大限に活かしながら、皆さんの声を県政に届ける役割を果たしていきます。



●松岡正人プロフィール●

1963年 各務原市生まれ
子苑幼稚園、那加第二小学校、
那加中学校、岐阜高校
学生時代はバドミントン部
中・高・大学を通じて全国大会出場
1986年 同志社大学経済学部卒業
十六銀行入行
銀行退行後、保険代理業独立開業
消防団や各務原青年会議所で地域活動や
まちづくりに参画

2007年 岐阜県議会議員 初当選(現在4期目)
現在 各務原市バドミントン協会 会長
各務原市レクリエーション協会 会長



●岐阜県議会における経歴●
2012年 厚生環境委員会 委員長
2013年 教育警察委員会 委員長
2014年 総務委員会 委員長
2015年 土木委員会 委員長
2016年 企画経済委員会 委員長
2017年 監査委員
2019年 農林委員会 委員長
2021年 第129代副議長
2022年 土木委員会 委員

松岡正人事務所

〒504-0908
岐阜県各務原市那加織田町2-5-1

●ご意見・ご要望をお聞かせ下さい
[TEL.] 058-389-6665
[FAX.] 058-389-6676
[E-mail] shiwase@yaranakan.jp

